



【校訓】 立志 ・ 協働 ・ 生命

南風 ~ MINAMI KAZE ~

高知市立南海中学校 学校便り No.28

令和4年9月13日(火) 通算2124号

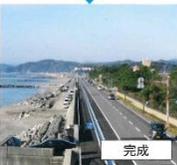
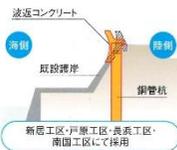
高知市長浜 5235 Tel.088-842-3291

高知海岸の新しい堤防が完成

長浜・浦戸地区にとって心強い味方

鋼管杭工法

鋼管杭の連続壁により津波による浸水を防止



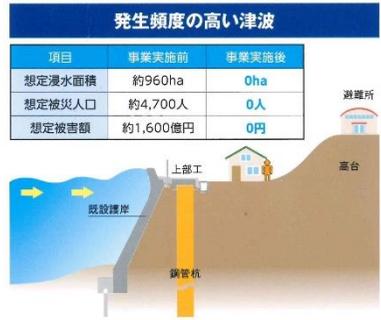
10年以上の歳月をかけて施工されていた高知海岸の新しい堤防が完成し、落成式典が行われました。

この堤防は「鋼管杭工法」という最新の土木技術で造られており、液状化による地盤沈下が起こっても堤防の機能を維持することができるそうです。

また、通常クラスの津波ならば防ぐことができ、最大クラスの津波でも私たちが高台に逃げる時間をかせぐことができる、大変心強いものです。南海中としても、この堤防の利点を生かし、確実に安全に避難できるよう避難計画に盛り込んでいきたいと思えます。

9月3日に行われた落成式典では、南海中からNSPが招待され、代表として3年の さんが出席してくれました。式場では、NSPのメンバーが堤防への感謝と期待を表したメッセージ動画が上映されました。

■比較的高い発生頻度の津波(数十年~百数十年に一度の頻度)による浸水被害を防ぎます。



■最大クラスの津波に対しても以前の海岸堤防に比べ壊れにくくなるため、浸水面積が減少し、また避難時間をかせぐこともできます。



NSPからの完成をお祝いするメッセージ動画 ↑ (南海中HPでご覧ください)

南海中学校区津波避難マップ2022ができました

津波避難マップが3年ぶりに新しくなり、NSP実行委員会の6名(2年生)が、報道関係者に内容の説明を行いました。このマップは、NSP実行委員会の生徒が実際に避難場所を訪れ、現地の状況を言葉で表し、画像も自分たちで撮影しました。

説明会では、マップの製作で工夫した点や現地取材の苦労などをうまく話していました。夕方のテレビニュースでは、「お年寄りや小さな子どもにもわかりやすい表現で書かれている」と評価してもらっていました。

このマップを2000部発行し、校区の小学生の家庭や地域に配付し、10月23日(日)の「防災活動の日」に役立ててもらおう計画です。



津波避難マップ 高精度に

高知・南海中生3年ぶりに改訂

太平洋沿岸部に位置する高知市立南海中学校の2年生6人が7日、校区の津波避難マップをより精度の高いものに更新したポイントや、今後の活用方法などについて説明した。マップは「NSP(南海サバイバルプロジェクト)」という特別部活動に所属する生徒らが作成。2019

年発行の初版を、約3年ぶりに改訂した。自分たちが現地に赴き撮影した避難場所や避難ルートの画像を差し替え、「道幅が広いので車いすなどもOK」といった注意書きを加えた。初版の約2倍となる167か所の海拔(標高)も表記。2000部を作成し、校区内の家庭や自治会に配布する。浜口海吏君(14)は「実際に避難場所を訪れてみないと分からないことがあった。マップを参考に津波からの避難を常に意識してほしい」と話した。

令和4年9月8日付 読売新聞高知版



翌9月8日には、宮崎大学と京都大学の防災専門の先生方に、マップとNSPの活動の紹介を行い、大変感心していただきました。